

無料講座説明会&個別受講相談のご案内

無料講座説明会 予約不要 ◎当日は会場へ直接お越しください。

内容： □CIAとは □試験制度について □講座案内 □個別相談

八重洲校		
日程	水曜：19:00～20:00	日曜
3月	2 (水) ・ 16 (水)	6 (日) 12:30～13:10
4月	6 (水) ・ 20 (水)	
5月	11 (水) ・ 25 (水)	22 (日) 12:30～13:10
6月	8 (水) ・ 22 (水)	
7月	6 (水) ・ 20 (水)	
8月	3 (水) ・ 17 (水)	21 (日) 12:30～13:10
9月	7 (水) ・ 21 (水)	

※社会情勢の変化等により、日程が変更となる可能性がございます。
HPにて最新情報のご確認をお願いいたします。
(https://www.tac-school.co.jp/kouza_cia.html)

無料講座説明会/個別受講相談参加者特典!

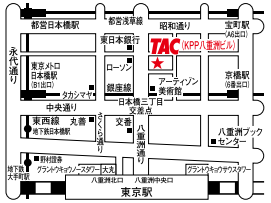
¥10,000 入会金免除券
プレゼント!!

八重洲校

☎03(6228)8501(代)

〒104-0031 中央区京橋1-10-7
KPP八重洲ビル4F

JR東京駅八重洲中央口より徒歩5分 日本橋駅B1出口より徒歩3分
京橋駅6番出口・宝町駅A6出口より徒歩4分



講座説明会やセミナーがWeb上で視聴できる!!
TAC 動画チャンネル

資格の概要や試験制度、TACのカリキュラムをお話する「講座説明会」を無料でご覧いただけます。
<https://www.tac-school.co.jp/>



お問い合わせ 通話無料 0120-509-117 (受付時間 9:30～19:00 (月～金) 9:30～18:00 (土・日・祝))
※営業時間短縮の場合がございます。詳細はHPでご確認ください。

✉ cia@tac-school.co.jp

申込方法

お手続きは簡単です!

詳細については、TAC各校までお問い合わせください。

下記の注意事項を必ずお読みの上、お申込みください。

※0から始まる会員番号をお持ちでない方は、入会金(¥10,000・消費税込)が別途必要です(入会金不要講座・免除講座を除く)。会員番号につきましては、TAC各校までお問い合わせください。

TAC受付窓口で
お申込みの場合

インターネットで
お申込みの場合

郵送で
お申込みの場合

大学生協等代理店で
お申込みの場合

講座申込書にご記入のうえ、受講料を添えて受付窓口へお持ちください。お支払方法は以下のとおりです。

①現金でのお支払い

②クレジットカードでのお支払い

※下記の表示のあるクレジットカードがご利用いただけます。ダイナースカードはご利用になれません。

VISA Mastercard AMERICAN EXPRESS JCB

※翌月一括かボーナス一括(利用できない期間があります)をご選択いただけます。

※現金と併用してお支払いいただくこともできます。

※TAC教育ローンの頭金へのご利用はできません。

③デビットカードでのお支払い

※お客様ごとに設定されている支払限度額について、ご利用いただけない一部カードについて、利用可能時間・曜日については、予め取引先金融機関にお問い合わせください。

※TAC教育ローンの頭金へのご利用はできません。

④TAC教育ローン(分割払い)でのお支払い

(30,000円以上のお申込み)

※TAC教育ローンをご利用の際は、別途案内書をご参照ください。

e-uketsuke 受付
TACお申込みサイト

e受付では、お申込み可能な商品が限られております。詳細はe受付サイトにてご確認ください。

お支払い方法は以下のとおりです。

①クレジットカード
お支払いは、1回、2回、ボーナス一括払いに加え分割払いがご利用いただけます。

②コンビニ決済(※)
30万円までのお取扱いとなります。

③銀行振込[三菱UFJ銀行](※)
[お申込み内容確認メール]にてご案内させていただく銀行口座へお振込みください。

④ペイジー(※)

各お支払い方法についての詳細は、e受付サイトにてご確認ください。

<https://ec.tac-school.co.jp/>

(※)コンビニ決済、銀行振込、ペイジーの振込手数料はお客様負担となります。また、ご利用は申込締切日の8日前までとなります。

■銀行振込
(口座名)TAC株
(振込先)みずほ銀行/神田支店
普通預金2142263

■郵便振替
(口座番号)00140-4-74476
(名称)TAC株式会社

①講座申込書②受講料の振込控え(インターネットバンキングの場合は振込完了画面を出力)を添付してください。

(送付先)
TAC申込手続係
〒101-8383
東京都千代田区神田三崎町3-2-18

※振込手数料はお客様ご負担となります。
※原則として前払いとなります。

生協等の専用申込書に記入し、割引受講料をお支払いください。

※取扱店舗により申込方法が異なる場合がございます。また、一部お申込みのできない講座・コースもございます。

※生協等で「申込書類」を必ず受取ってください。

↓

TAC受付で講座申込書に記入し、「申込書類」(生協等で受取)とともに提出

通信の方は店舗から受取った返信用封筒に「申込書類」(生協等で受取)「講座申込書」を入れてお送りください。

会員証の発行

TAC受付窓口で
手渡し

学習スタート

会員証の発行

[通信メディア]⇒ご自宅へ郵送
[通学メディア]⇒TAC受付窓口で手渡し

学習スタート

会員証の発行

ご自宅へ
郵送

学習スタート

会員証の発行

TAC受付窓口で
手渡し
(通信メディアはご自宅へ郵送)

学習スタート

注意事項 ●当案内書の有効期限は、2022年9月までになります(コースにより申込期限が異なりますので、ご確認の上お申込みください)。
●未成年者(18歳未満)が受講申込み(受講料5万円以上)をする場合には、別途親権者の自筆による「同意書」の提出が必要です。
●TAC提携校では、一部お取扱いできない場合もございますので、予めご了承ください。



WセミナーはTACのブランドです。

TAC
公認会計士/税理士/簿記検定/行政書士/弁理士/通関士/知的財産管理技能検定®/公務員(地方上級・市役所・国家一般職・技術職・心理職・福祉職・警察官・消防官)/教員採用試験/社会保険労務士/中小企業診断士/不動産鑑定士/宅地建物取引士/建築士/マンション管理士/管理業務主任者/電気主任技術者/ファイナンシャル・プランナー/証券アナリスト/米国公認会計士/公認内部監査人(CIA)/情報処理技術者/パソコンスクール/CompTIA/ビジネスプロ養成スクール

Wセミナー (WセミナーはTACのブランドです)
司法試験/司法書士/公務員(国家総合職・外務専門職)

332-0901-1003-17

資格の学校
TAC

[LICENSE GUIDE] 2022.03-2022.09

公認内部監査人

国際資格はTAC!!

2020年度 国内合格者数

672名!!

学習するなら今がチャンス!
(日本内部監査協会公表資料より)

CIA

Certified Internal Auditor
[公認内部監査人]



1 出題傾向に沿った教材!
2 豊富な問題数 約1,600問!
3 安価な受講料で学習可能!

無料講座説明会 出席者特典!! ¥10,000 入会金免除券
プレゼント

詳細は裏面を
ご覧ください

資格の学校 TAC

東証1部上場(証券コード4319)株主優待制度あり <https://www.tac-school.co.jp/>

TAC(株)公認内部監査人(CIA) 332-0901-1003-17

組織の崩壊を防ぎ、企業価値向上を目指すのが、CIA!!

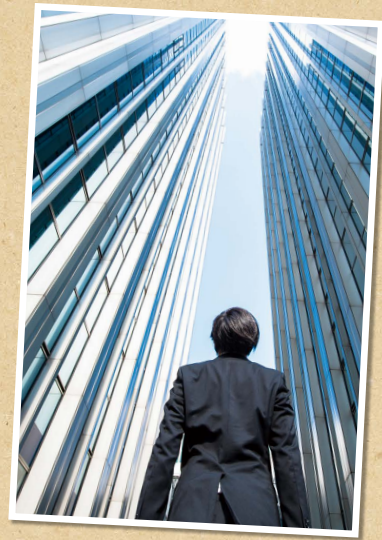
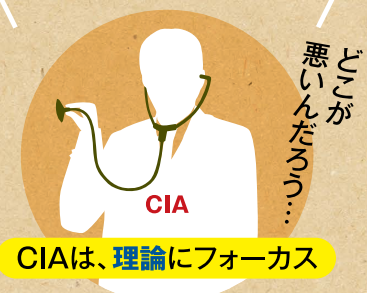
なぜ、組織体にCIA(公認内部監査人)が必要なのか?

CIA

およその学習時間は
300～400時間

CIAは、内部統制・内部監査に関するスペシャリストを称する国際資格です。CIAは、組織やその構成員を守るために内部統制の有効性を評価・改善を促し、組織が目標を達成することを支援します。CIA試験は、世界約190の国と地域で実施されており、世界のあらゆる組織においてCIAが必要とされています。

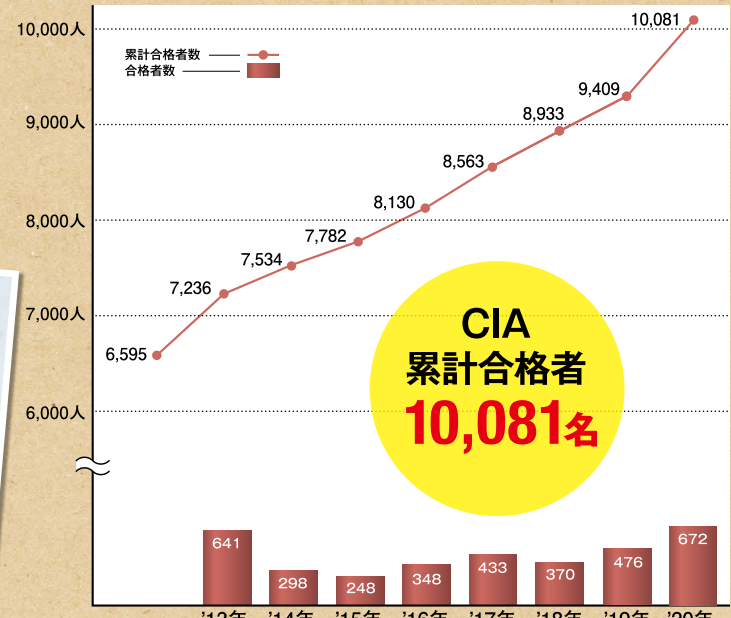
CIAは、ホームドクター



※上記は、あくまでもイメージです。

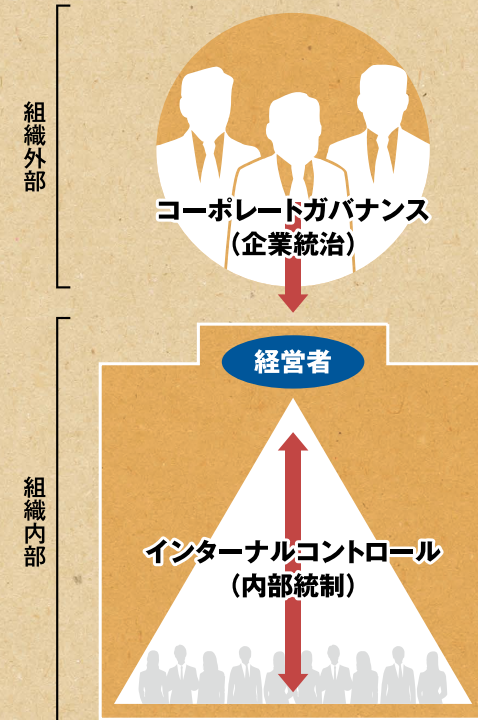


▶日本国内におけるCIA試験 合格者数



※上記合格者数は、日本内部監査協会公表資料に基づいています。

近年、組織体であらゆる問題(粉飾決算、食品偽装、危機管理体制の不備等)が生じているのは、**内部統制**と**企業統治**が正常に機能していないことが主要因として挙げられます。グローバル化・インターネットの発達等により、世界は「人・モノ・カネ・情報」が国境を超えて瞬時に行き交うようになりました。組織に対する価値観にも変化が生じ、以前にも増してより高い倫理性・透明性が求められる時代に突入しています。昨今の不祥事から、CIAで学習する**内部統制**や**企業統治**の知識は、内部監査人だけではなく、**組織を構成するあらゆる人が学習すべき内容**です。



コーポレートガバナンス(企業統治)

企業の利害関係者(株主等)が、企業価値の向上および適正な事業活動を維持するために、経営者とその職務執行をチェックする仕組み。

インターナルコントロール(内部統制)

企業が適正な事業活動を維持するために、独自に構築する社内ルールや管理体制などの仕組み。
内部監査は、内部統制の有効性を評価・改善を図ることにより、組織の目標達成を支援することをいいます。

内部統制知識の欠如が組織を崩壊させる!!

内部統制は、経営者と従業員が一丸となり、自主的に構築していくものです。しかし、組織体に適切な知識を持った者がいなければ、内部統制は形骸化し、組織や個人に暴走する機会を与えてしまいます。組織や個人の暴走を抑止し、適切な組織作りを支援するのが、CIAです。

CONTENTS

▶試験制度	P3
▶TACの強み	P5
▶合格者の声	P6
▶講師紹介	P9

▶TACオリジナル教材	P10
▶学習メディア	P11
▶フォロー制度	P12
▶実践的カリキュラム コースガイド	P13

▶日程表	P15
▶受講料一覧	P17
▶CPEについて	P19
▶無料講座説明会日程&申込方法	裏表紙

CIA試験はいつでも受験できる！
効率的に学習し、短期合格を実現しましょう！！

★試験制度に関する情報は、日本内部監査協会でご公表している情報（**2022年2月時点**）に基づいて記載しています。
今後、変更となる可能性もございますので、詳細は、日本内部監査協会ホームページをご確認ください。
(<https://www.iiajapan.com/leg/>)

申込要件と認定要件

※CIA試験は「**認定資格受験者管理システム(CCMS)**」を通して受験情報が管理されます。
受験の際はまずアカウントの作成が必要です。

申込要件			認定要件	
1.教育要件	2.身分証明書	3.推薦状	4.試験の合格	5.実務経験
修士号(大学院卒業)	✓	✓	✓	12ヶ月
学士号(大学卒業)	✓	✓	✓	24ヶ月

※最終学歴が修士・学士以外の方は、初回受験登録時に5年以上の実務経験があることが必要です。

試験プログラムの有効期間(3年)

初回受験申込登録完了から3年以内に、下記1～5の要件を満たす必要があります。

有効期間を越えてしまった場合、再度試験プログラムに申込みことはできますが、前回の有効期限内に合格されたパート試験も再受験する必要があります。

1. 教育要件

学歴証明の証拠書類が必要です(学位証明書・卒業証明書など)。

CCMSへ学歴証明の証拠書類をデータ化しアップロードします。

※証明書に記載の姓名と現在の姓名が異なる場合、変更を証明する書類(戸籍抄本など)も併せてアップロードします。

2. 身分証明書

現在有効な政府発行の顔写真付身分証明書が必要です(運転免許証・パスポートなど)。

CCMSへ身分証明書をデータ化しアップロードします。

3. 推薦状

受験者は、高いモラル、高度な専門性、およびIIAの倫理綱要を満たしていることを示さなければなりません。

以下のどなたかから推薦状を入手する必要があります。

※IIA認定国際資格保持者、現在の上司または相当する方、教授(受験者が学生の場合に限る)

CCMS上に推薦者の情報を入力すると、推薦者へメールで推薦状が送信されます。

推薦者が了承をクリックすることで推薦手続きが完了します。

4. 試験の合格

試験は3科目です。初回受験申込登録完了から3年以内に以下3パートの合格が必要です。

- ・PartI(内部監査に不可欠な要素)
- ・PartII(内部監査の実務)
- ・PartIII(内部監査のためのビジネス知識)

5. 実務経験

初回受験申込登録完了から3年以内の任意のタイミングで実務経験の証明が必要です。

以下の実務経験を証明できる現在の上司またはIIA国際資格保持者の方にご依頼ください。

※内部監査、品質のアシュアランス、リスクマネジメント、監査・評価・懲戒、コンプライアンス、外部監査、内部統制

CCMS上で証明者の情報を入力すると、証明者へメールで「証明書の依頼」が送信されます。

証明者が提示された内容に同意、「提出」をクリックすることで証明が完了します。

試験概要

CIA CIA試験は次の3科目から構成され、科目合格制となっています。

Part I：内部監査に不可欠な要素	Part II：内部監査の実務	Part III：内部監査のためのビジネス知識
2時間30分:125問	2時間:100問	2時間:100問
【出題割合】	【出題割合】	【出題割合】
- 内部監査の基礎 15% - 独立性と客観性 15% - 熟達した専門的能力および専門職としての正当な注意 18% - 品質のアシュアランスと改善のプログラム 7% - ガバナンス、リスク・マネジメントおよびコントロール 35% - 不正リスク 10%	- 内部監査部門の管理 20% 1. 内部監査部門の運営 2. リスク・ベースの内部監査計画の策定 3. 最高経営者および取締役会への伝達と報告 - 個々の業務に対する計画の策定 20% - 個々の業務の実施 40% 1. 情報の収集 2. 分析および評価 3. 個々の業務の監督 - 個々の業務の結果の伝達および進捗状況のモニタリング 20% 1. 個々の業務の結果の伝達およびリスク受容 2. 進捗状況のモニタリング	- ビジネス感覚 35% 1. 組織体の目標、行動および業績 2. 組織構造とビジネスプロセス 3. データ分析 - 情報セキュリティ 25% - 情報技術(IT) 20% 1. アプリケーションおよびシステム・ソフトウェア 2. ITインフラストラクチャーおよびITコントロール・フレームワーク 3. 災害復旧 - 財務管理 20% 1. 財務会計および財務 2. 管理会計

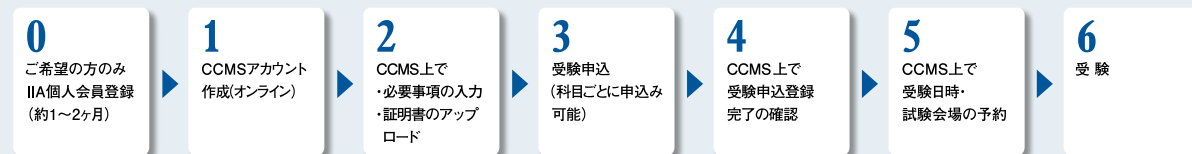
☐ 試験方式	コンピュータ・ベース・テスト(CBT) ※試験は、試験会場に備えられたパソコンにより出題・解答のすべてが行われます。 ※受験者が電卓を持参することはできません。パソコンの電卓機能を使用します。	☐ 試験会場	PearsonVUEが認定するテストセンター (札幌市、仙台市、東京都、横浜市、名古屋市、大阪市、広島市、松山市、福岡市、那覇市) http://www.pearsonvue.com/japan
☐ 出題形式	四肢択一式	☐ 試験日	通年で科目ごとに受験が可能 テストセンターの営業日であれば、ご自身で試験日を決めることができます。
☐ 出題数	各科目100～125題		各Partの受験有効期間は、受験申込登録が完了した日を基準に180日間です。 不合格の科目は、試験日から ※60日間 は同一科目の受験手続きはできません。
☐ 試験時間	PartI 2時間30分、PartII・III 2時間		
☐ 受験言語	日本語またはいくつかの言語		
☐ 試験結果	採点は科目ごとに行い、得点は250から750ポイントのスケールドスコアに換算されます。合格ラインは各科目600ポイント以上です。 終了後に、仮の試験結果が発行され、48時間以内に正式な結果がCCMS上で確認可能となります。		

受験費用

CIA	IIA個人会員	IIA個人会員以外	※IIA個人会員年会費¥20,000(入会日より起算して1年)(2022年2月時点) ※入会には1～2ヶ月かかります。 「IIA個人会員」料金は、個人会員手続きが完了している方のみに適用されます。
登録料	¥12,000	¥25,000	
CIA Part I	¥31,000	¥44,000	
CIA Part II	¥25,000	¥38,000	
CIA Part III	¥25,000	¥38,000	

受験手続

CIA 【申し込みから合格までの主な流れ】



※3～6を繰り返し、3科目の合格をする(初回受験申込登録完了から3年以内)

TACの強みは!?

TACの強み 1

出題傾向に沿った教材！

TAC CIA講座では、IIA（内部監査人協会）が公表している出題シラバスを分析し教材を作成しています。出題割合も加味しメリハリのついた教材であるため、効率的・効果的に学習をしていただけます。

※過去のCIA本科生受講生の方は、再受講価格で最新教材をお求めいただけます。

▶ P4、P10

TACの強み 2

豊富な問題数 約1,600問！

CIA試験では、本試験問題が公表されておりません。そのため、合格には規定を細かく覚え、アウトプットとして予想問題を多く解くことが一番の近道となります。TACではテキストとトレーニングを併せて約1,600問の問題を掲載しています。これらの問題は、紙でもWebでも解くことが可能です。

▶ P10

TACの強み 3

安価な受講料で学習可能！

TAC CIA講座では、CIA本科生（IPPF教材あり）コースを168,000円でご受講いただけます。受講料には、テキスト・トレーニング・講義が含まれており、内部監査・内部統制の学習が初めての方でも安心して学習を開始していただけるカリキュラムとなっています。

▶ P13～14

CIA試験合格者インタビュー

ホームページには合格者の声を多数掲載中！是非ご覧ください！

TAC CIA 検索

合格者の声



渡辺 誠一さん

TACを信じて正解でした！

CIAを学習しようと思ったきっかけや理由：

内部監査室への異動が決まり、業務経験ゼロからのスタートでしたので、基礎知識を強化し実務に活かしたいと思い学習をしました。また、CIA（公認内部監査人）が国際資格である事も、学習の理由の一つです。自分のこれまでのキャリアやスキルに国際基準の知識、判断軸を加え、内部監査実務をする事で会社に更に貢献できるのではないかと考えました。自身のスキルアップと会社への貢献の両方を実現したいと考えました。

CIA試験は、初見問題が多い、過去問題が開示されない、試験の情報量が少ない、かつ一般的に流通している問題集よりも難易度が高い、など対策がしづらい試験だと思います。また、モチベーション維持、集中力の維持も大変かと思います。（これは私だけかもしれませんが）ただ、TACテキスト、トレーニング集および講義をベースに表面上の知識でなく本質を捉える事を意識してしっかりと学ぶ事で、対策ができる試験だと思います。是非頑張ってください。



後藤 祥平さん

落ちた時こそ頑張り時

CIAを学習しようと思ったきっかけや理由：

昨年、公認会計士として登録した後、欲が出て、もう一つぐらゐ名刺にかける資格を取りたいと考えました。ただ、業務が非常に多忙なこともあり、勉強時間を捻出できる自信がなかったため、受験をするうえで優位に進められそうな資格（自身の業務と親和性が高い資格）を調べたところ内部監査系の資格であるCIAにたどりつきました。これから学習をされる方や、学習中の方へのアドバイス

CIAの試験を難しくしている要因は過去問が公表されていないことと合格率が公表されていないことが挙げられます。

個人的な経験ですが、そのような不確かな状況下で合格を勝ち取るには、如何に“自分の使っている教材をやりこめば合格できるか”を信じられるかが重要になると考えます。一生懸命勉強して不合格だったときは、すごく落ち込みますが、それでも教材をやっているだけで受かると“妄信”して“猛進”すれば合格できますので、あきらめず頑張ってください。



大庭 広紀さん

知識を使う想像力が大切な試験

職場では内部監査部門に所属しているわけではなく、法務部門・総務人事部門を通じて内部統制の維持強化、内部通報制度などに携わっています。日々の業務ではどうしても所属会社中心の知識経験になりがちということもあり、今後も重要視されていくコーポレートガバナンスを支える内部監査という仕事の知識や実務、そして、これらに必要とされるビジネス知識を、世界標準の試験を通して体系的に学ぶことができるという点が大きな動機になりました。

アドバイス等：講師が暗記すべきとした部分は確実に暗記をしたうえで、その背景にある考え方を理解するために時間をかけるようにしました。暗記を進めていくと、同じような単語や考え方に会出があるかと思いますが、それが背景にある考え方への筋道です。この点が見えてくると、問題集をあえて暫くぶりに解くようにしても、筋道から十分対応できるようになり、正誤がはつきりした肢ではないものでも、優劣をつけて回答できるようになると思います。知識を想像力に生かすことで、資格試験だけではなく、実務にも十分生かせる知識技能が習得できると思います。



辻ヶ堂 卓さん

Time Is Money

CIAを学習しようと思ったきっかけや理由：

監査部に異動になったところ、CIA資格取得が推奨されていました。日々の実務を通じて、監査の国際基準への深い理解が仕事の質の向上に直結すること、そのための最短ルートがCIA取得であることに気づき、勉強を始めることにしました。

資格取得には一定のまとまった時間が必要です。私は学習時間をその都度分単位で記録し、休憩を除く正味の学習時間を週20時間積み上げていくことをモチベーションにしていました。集中法としては、「ポモドーロ・テクニック」を用いました。25分の集中時間と5分の休憩を繰り返していく手法で、これをサポートするスマホアプリもあり、非常に有用です。

TACに決めたら、あとはしっかり学習時間を積み上げれば、合格が近づくと思います。ご自身が一週間に何時間勉強することが持続的に可能かを把握した上で目標時間を設定し、毎週目標時間をクリアしていくことが大切なのではないのでしょうか。みなさまに良い結果が訪れることをお祈りしております。



和地 一樹さん

TACの講座でCIA合格

CIAを学習しようと思ったきっかけや理由：

CIA取得を目指し、学習を始めた理由は、転職先の企業の採用ポジションが内部監査だったことです。日々、監査業務に取り組む中、業務で得た知識や経験も大事ですが、より監査業務を深く知り、さらに効果的なものにする上で、監査に関する理論やフレームワークなどを習得することは、自身が今後この分野でキャリアを築く上で重要になると考えました。

勉強方法：問題集を解くだけでなく、なぜ、この選択肢が正解なのか、この問題は本質的に何を問うているのかなど、1問ずつ深く考える癖を身に着けるようにしました。同時に問題を解いたら、テキストの該当箇所に戻って、再度、その部分の理論を学習し、徹底的な理解に努めました。地道な学習ですが、これが結果的に合格へとつながったのだと思います。



森下 純也さん

Part IとPart IIの不合格を乗り越えて

CIAを学習しようと思ったきっかけや理由は、今後も仕事を続けていく事を助けてくれそうな外部資格の取得を検討した際、CIAは日本国内に留まらない国際的な資格であり、自分自身のこれまでの業務経験を生かしつつ、新たなスキルの獲得も可能にしてくれるように感じられたためです。勤務する会社にTACのCIA講座受講をサポートしてくれる制度が存在しており、受講申込前に講義内容やテキスト・問題集等を確認し、内容が網羅的で充実していると感じたため、TACでの受講を選びました。

これから学習をされる方や、学習中の方へのアドバイス：

CIA試験は講義・テキストの内容理解を問題の正答率向上に結び付ける事が難しいと感じました。テキストをじっくり理解してから問題集に取り掛かるのではなく、早い段階から問題集を繰り返し解いたほうが良いと感じています。

よくある質問 Question & Answer

Q 合格までの学習時間はどのくらいですか？

A 約300時間～400時間（講義時間含む）が目安となります。
TACが実施している合格者アンケートによると、合格までの平均学習時間は約300時間～400時間です。



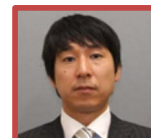
公認会計士 CIA

TACの良質な教材・講義で、 公認会計士とCIAの ダブルライセンスを取得！

CIAを学習しようと思ったきっかけや理由：

現在の勤務先である独立行政法人において、長らく財務経理部門にて財務諸表の作成に携わっていましたが、監査室に異動となり、既に取得していた公認会計士としての知識や経理の実務経験を活かしてCIAにもチャレンジしようと思ったのがきっかけです。また、途中から監事スタッフ（監事室）も兼任することになり、その時に監事からの後押しもあり、受験することを決意しました。
これから学習をされる方や、学習中の方へのアドバイス：

CIAの学習を通して、内部監査実務に直結する知識を得ることができ、さらには内部監査の本質を理解出来ました。CIAを学習し始めてからは、明らかに良い監査ができるようになったと実感しています。内部監査実務に従事している方はもちろん、公認会計士や監査役の方にもCIA資格取得を目指すことをお勧めします。



CIA

急がば回れ

外資系通信会社で、営業企画の仕事をしていて、インセンティブ管理で常に不正行為と隣り合わせであった為、客観的な指針が必要だと感じ、勉強を始めました。内部監査以外の部署でもリスクの高い仕事をする際には非常に効果的な資格かと思います。

ギリギリで試験に落ちることがあるかと思いますが、めげずに基本をなんども繰り返し勉強してみてください。私は通信講座で勉強をしていたのですがPart1を落ちた後に、講師に直接勉強方法を尋ねに伺いましたが、非常に丁寧に対応していただきました。特に参考になったのは「4択の問題を正解したからといって安心するのではなく、夫々の肢が何故間違っているのか、合っているのか、それぞれが一問一答だと思って解くように」というアドバイスでそこから勉強方法が変わったと思います。

非常に微細な論点を狙ってくる、どちらでも正解と思える問題が多いので苦労が多い資格ですが、そこで自分の選択の正解率を少しでも上げていけるよう、細かい論点を整理していくことが必要かと思います。急がば回れかもしれません…



CIA

諦めないことの大切さ

きっかけは、会社の業務で内部監査の知識及び理解が必要となり、書物等で見識を高めようとした。しかしながら、読んでいるときは理解できるのですが修得とまでは程遠く、この勉強方法で本当にいいのかと悩んでいました。あるとき会社の業務で、社内の内部監査部スタッフと仕事をしますが、彼らは小職にはない知識と業務に対する理解を所持していました。彼らのかんりの人がCIA合格者と知り、小職は「これだ」と思いました。

DVDコースを選択していましたが、テキストとDVDでの理解、その後、トレーニングで理解の確認を繰り返しました。しかし、なかなか合格に至らず、「テキストも何度もよみトレーニングも何度かするが、合格できず、どれだけやれば合格するのか？」と心が折れかけたとき、講義の中で講師の先生が「テキストをなめるよう読むべし」と言われていました。そう言われてみて初めて、自分で「そこまではやっていない」と気付き、改めてテキストとトレーニングを繰り返し、理解修得に努めました。講師の先生のあの一言に感謝しています。



CIA

経験に依拠しない 合理的推論習得に役立つ試験

2014年頃に大きな試験制度変更が為されておりますので、近年、難化していると思います。過年度合格者コメントや資格難易度サイトを鵜呑みにせず、着実に階段を上がるアプローチが定石です。全員が正答可能な問題も数多く含まれており簡単に見えますが、合否を分かつ問題は判断に悩む筈です。米国式の考え方に抵抗ない方、システム・会計監査等の本質的理解に造詣が深い方は、半年程度で合格する方が居ても不思議でない一方、取り組みプロセスや考え方のフレームワークを習得できない方は永遠に合格点に到達しない試験だと感じています。

実際、偏差値に近い積算方法で80%が合格基準とされていますが、75%では全く惜しいスコアでもありません。しかし、合格レベルまで理解していれば必ず結果に結びつく試験です。

異業種・異職種・異職位に挑戦した際、役に立った試験勉強でした。資格取得自体は手段に過ぎないものの、経験に依拠しない推論及び検証、幅広い領域を正確に理解・整理・報告する能力を強化可能です。是非、これから受けられる方は頑張ってください。



CIA

苦労した分、喜びも大きいです。

現在、内部監査室長をしており、企業が指名委員会等設置会社へと移行するのを機に本格的に学びたいと思い、TACさんにお世話になることといたしました。TACは、事業所の近場に八重洲校があったこともありますが、スクールとDVD講義の二本立てで気軽に参加できることが魅力的でした。

DVDやテキストはとてもわかりやすくプロフェッショナルであることは言うまでもありませんが、スクールで小菅先生の実務レベルの話はある意味実務で参考になっています。

私は恥ずかしながら受験回数8回でようやく全教科合格にたどり着きました。おかげさまで(?)テキスト、トレーニングはどれほど学習したか?なんとなく合格する資格試験は多くありますが、これまでの人生を通して、これほど苦労して合格したものはないので、感慨ひとしおです。

スムーズに合格される方もいれば、苦労される方も多くいると思います。負け惜しみかもしれませんが、多く苦労した分、喜びも大きいですよ。本当に取得したいと思うのであれば、あきらめずトライしてほしいと思います。



CIA

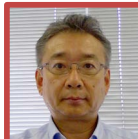
正解への道は、 テキストの中にあります。

会社の内部監査部門の創設に合わせ、配属されました。全てを一から作り上げる必要があったため、IIAの国際基準を拠り所として規程や計画を整備しましたが、一層の品質向上のため、また体系的な知識理解のため、CIA受験を志しました。

教室での講義はテキストをなめるだけでなく、身近な時事トピックを織り込んだ生きた知識だったことが良かったです。また試験合格の観点では、テキスト内容を平板に説明するのではなく、メリハリを利かせ理解すべきポイントを明確にする進め方が良かったと思います。

自分はPart2を1度不合格になっています。その際の印象は、正答が絞りきれない、というものでしたが、再受験のため改めてテキストを学習すると、正しい理解をしていれば、正答にたどり着けることに気がつきました。トレーニングの内容がそのまま試験に出ることは無いと思いますが、テキストを基に先生の説明の意図を図るところを適切に理解すれば、短期間の合格も可能だと思います。

※体験記は合格時にご執筆いただいた時点の内容です。2022年4月より、DVD通信はWEB通信となります。
体験記内の表記が現在のメディアと異なっている場合がございます。予めご了承ください。



CIA

TACの良いところは コストパフォーマンスが よいことです。

部内での新任監査人の教育の際に、CIAの資格を持つ講師(当社社員)からCIAについて説明があり、資格取得の手段として複数の学校の説明がありました。TACを選んだ理由は、ズバリ講習代が安かったことです。

また、ホームページでの合格者の声で、講義内容についても安心することができました。講義については、わかりやすい説明だったと思います。選んだ理由にも書きましたが、TACの良いところはコストパフォーマンスがよいことです。

これから学習をされる方や、学習中の方へのアドバイスですが、長い道のりですが必ずゴールにたどり着けますのであきらめず頑張ってください。

PART3についてはある程度割り切りが必要です。財務・会計は深く勉強しないで、トレーニング問題集で十分です。

実際の試験でも計算問題は後回し(とりあえず直感で解答しておいて)とし、全問解答後、余った時間で計算しないと、途中で計算にはまってしまうと 時間が足りないといったことになる恐れがあります。



USCPA CIA

外部監査を中心とした USCPAと内部監査を中心とした CIAの相互シナジー効果！

USCPAを取得後、金融機関の内部統制に関するアドバイザー業務を担当するにあたって、資格の取得を通じてこれらの基礎知識を確認できるCIAの学習が業務に有用であると考えた為、学習を決めました。また、外部監査を中心としたUSCPAに加え、内部監査を中心としたCIAを取得することは、相互にシナジーを発揮し、自己のスキルのブラッシュアップにも有効と考えました。

Part3は1ヶ月、Part1は半年程で合格しました。Part2は途中で試験範囲が変更となったこと、業務上の海外出張が増加したこと等を主要因とし、数点不足して合格できなかったため、念のためTACの単科講座も受講しました。結果、予想よりも期間を要しましたが、業務／家庭を最優先としてつCIAの取得に至ったため、無理のないゴールができたと思っています。



不動産鑑定士 CIA

CIAは、監査・経営管理・会計・ITなど 幅広く管理部門の教養を広げるのにも 最良の資格だと思います。

銀行から、J-REIT(不動産投信)の資産運用会社へ向出し、コンプライアンスや内部監査などを担当することになったのがCIAの受験を決めたきっかけです。元々、資格の存在と概要は知っていたのですが、直接に関わる業務を担当することになったことで、是非取得しておきたいと考えました。

この試験は、他の試験と比べて圧倒的に情報量が少なく、効率よく合格するには、受験指導校を利用するのが必須と考えておりました。講座申し込みの前に、無料説明会に参加、コンパクトにまとまっていた教材類を参照し、有効に活用できそうだと思いました。

CIA資格はまだまだ、認知度が向上途中かもしれませんが、国際的に認知されていることもあり、この分野の知識を証明するツールになると思います。また、監査・経営管理・会計・ITなど幅広く管理部門の教養を広げるのにも最良の資格だと思います。



CIA

TACの教材は合格を 勝ち取るのに十分な内容でした。

内部監査の知識と経験が全く無い私が監査部長に任命され、監査部門の運営と実務を理解する為に、また所属する保険業界では内部監査の専門スキルの習得が必要である事などから資格取得を目指すこととしました。

これから学習される方や、学習中の方へのアドバイスですが、私は、初回のPartI受験でわずかに6スコア足りずに一度不合格となってしまいました。初回の受験でわかったことは、本番の問題の大半は見たことも無いような問題が出題される為、内容を良く理解していなければ正しい解答を導き出せないこととPartをまたいだ出題が結構あることです。

これから学習される方は、少なくともPartIとIIは通して学習するべきと思います。また、TACのテキストとトレーニングは良く纏まっており、合格に必要な内容が網羅されています。トレーニングについては、必ず解説も読んで解答への道筋がわかるようにしてください。理解できるようになれば本番の問題も対応できるはずですよ。



USCPA CIA

TACのおかげでUSCPAも CIAも全科目初回受験で合格！

USCPA試験合格後、仕事(フルタイム)、育児を両立させながら、TACのCIA講座(DVD通信講座)受講開始後2ヵ月で全科目初回受験で合格することができました。勉強は、平日は朝の通勤時間約20分とお昼休み1時間弱に問題演習を行い、夜は子供が寝た後にDVDをまとめて視聴していました。休日は子供と公園で長時間遊ばざるを得ないので、どうしても勉強は平日限定だったのですが、それでもUSCPAもCIAも全科目初回受験で合格できているので、本当にTACを選んでよかったと思っています。職場で異動になり急にCIAの知識が必要となってしまい、全く関連実務経験がなく焦っていたのですが、USCPAの学習で得た知識をベースにCIAの学習をしたことで、短期合格に繋がったと思います。CIAにも合格することでUSCPA単独よりも付加価値がついたので、本当に満足しています。皆様も是非、USCPA+CIAにチャレンジしてみませんか？



USCPA CIA

実際の監査業務で CIAの知識を活かすことが できる！

私がTACを選んだ理由は、USCPAなどで以前TACにお世話になっており、講師・教材の質の高さがわかっていたためです。実際受講してみると、TACのCIA講義は試験をよく分析した内容となっていました。また、TACのトレーニングを活用することで、どの分野が自分の弱点なのかを明確にすることができました。Part I・IIでは基準の読み込みが、全体の理解にとっても役立ちました。内部監査部門に勤めていても、内部監査部門長や内部監査人の役割、本来実施すべき業務を全体構造の中で把握するということを意識してこなかったため、Part I・IIの講義で学んだことは、試験対策のみならず、内部監査の思想・業務・組織など、すべての意味で業務の見方を変えさせてくれました。実際の業務の中で知識を活かすことができるので説得力が増したと実感しています。CIA試験合格にあたっては、基準の読み込み、トレーニング、自習室を使用できたことが大きかったと思っています。

TACは“短期合格”をコンセプトにかかげています。

そのため、講師陣は実務経験はもちろんのこと全員試験対策のスペシャリストが担当しています！



小菅 章裕氏

公認内部監査人(CIA)
内部統制評価指導士(CCSA)
中小企業診断士
特定行政書士
▶Part I・II・Ⅲ担当(教室)
▶Part I・II・Ⅲ(収録2021年)

CIAは内部監査の専門家である証(あかし)です。CIAになると、CPEの取得、内部監査協会のフォーラム参加により知識、経験に磨きをかけることができます。CIA講座では実務イメージを加味してガバナンス、内部統制、内部監査を取り上げます。きっと新たな発見(例えば海外拠点監査に役立つ海外の経営の在り方、日本との違い等)があるでしょう。これが、国際資格であるCIA学習のメリットです。一方で、CIA試験は範囲が広く、かつ概念論が中心となるため、独学での準備には限界があります。もし、独学で「モヤッ」とした印象が残る、過去問の解説を読んでも理解できない、という方は是非、TACの通学講座へ参加してください。

長年のコンサルティング等の実務、そして指導経験が皆さんの学習の効果効率を高め、「出席してよかった」「おもしろかった」という感想を得られるよう汗をかきたいと思っています。是非、CIA講座でお会いしましょう！

Profile

財務アドバイザー・ファーム退職後、セミナー講師として活動中。
大学卒業後、金融機関でデリバティブ・ディーリング、ミドルオフィスでの金融検査対応を行う。退職後、ディレクターとして統合リスク、不正リスク、PMI(ポスト・マージャー・インテグレーション)等のプロジェクト指揮経験を有する。



田中 義徳氏

公認内部監査人(CIA)
米国公認会計士(USCPA)
プロジェクトマネジメントプロフェッショナル(PMP®)
公認ビジネスアナリスト(CBAP®)
▶Part I・II・Ⅲ(収録2019年)

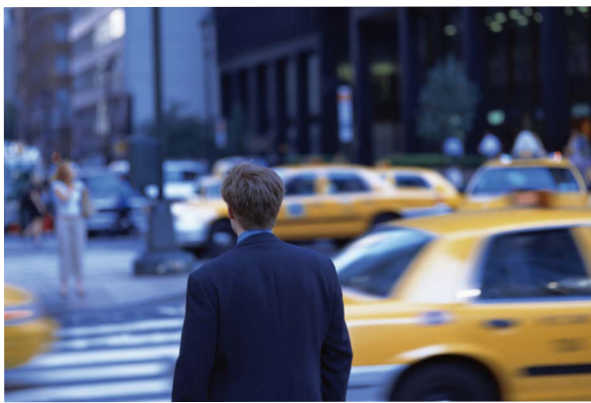
企業を始めとする組織体を取り巻く環境はグローバル化とIT化により急速に変化しています。このように急速に変化する環境の中にある組織体においてその目的・目標達成を客観的立場から支援する内部監査人の役割が増しています。

内部監査人というと一般的には社内におけるルール違反や不正の発見などが主たる業務というイメージがあるかもしれませんが、実際は組織体の経営目標の効果的な達成を客観的な視点から支援するというのが本質的な立ち位置です。よって、経営全般に渡る非常に幅広い視野が必要であり、時には経営陣に対して厳しい指摘を出せるだけの知識も必要となります。このように広範な知識が求められる内部監査の世界において、CIA資格の取得は内部監査人が保有すべき体系的知識を有していることの最も有効な客観的証明となり、組織体内外において内部監査のプロフェッショナルとして認められる武器になるでしょう。

是非CIAを取得して内部監査のプロフェッショナルの称号を手にしてください。

Profile

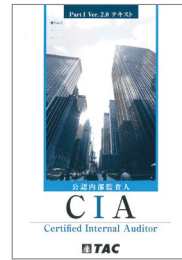
株式会社フォースウェイブ・コンサルティング代表取締役
経営コンサルタントとして、内部統制整備、海外事業展開支援、海外子会社管理支援、ITプロジェクトの推進支援に従事。



テキスト

計4冊(Ver2.0)
+IPPF

- Part I Ver2.0
- Part II Ver2.0
- Part III Ver2.0 上・下巻

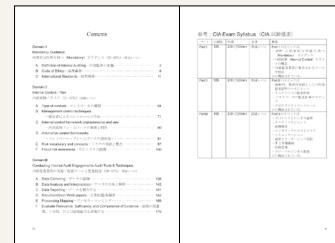


IPPF
内部監査人協会「専門職の実施の国際フレームワーク-2017年版-」

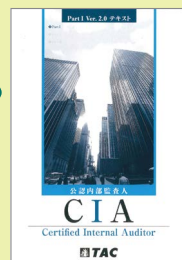


- 発行:日本内部監査協会
- 判型・ページ数:A5判・並製・345ページ
- 頒布価格:¥4,400-(税込)
- ※試験対策としてIPPFの熟読を推奨しています。

IIA(内部監査人協会)が公表している試験出題シラバスに準拠! 出題割合に合わせて、メリハリをつけていますので、最短距離での合格を強力にサポートします!

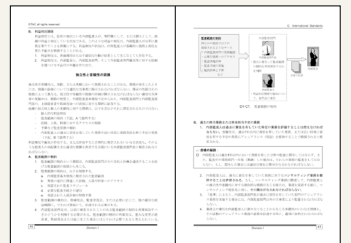


受講後は、テキストでポイントをチェック!



CIA試験で高い評価を得ているパワーズ社とTACのコラボレーションにより、試験で重視される論点を網羅! 合格に必要な情報を効率的に吸収できるテキストとなっています! Part I・IIは、IPPF(専門職の実施の国際フレームワーク)も使用し、合格に必要な知識を身につけます。

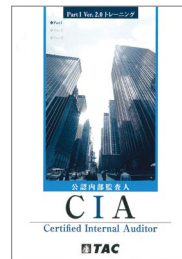
図解やケーススタディにより理解を深めることができ、「合格の秘訣」により、重要ポイントをおさえることができます。



トレーニング

「約1,600問」
計4冊(Ver2.0)

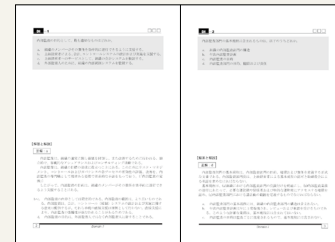
- Part I Ver2.0
- Part II Ver2.0
- Part III Ver2.0 上・下巻



テキスト・トレーニング注意事項

※テキストでは試験に出題可能性の高い論点を中心に知識を取り扱っております。一方トレーニングではテキストよりも幅広い範囲の知識や実務レベルの詳細な知識を取り扱っているため、テキストには掲載されていない範囲からの出題もございます。その場合、出題頻度は高くはないと考えられますが解答解説をインプットの一環として取り組んでいただけますようよろしくお願いいたします。

問題と解答・解説を同一ページに収録。
効率良く学習できる!



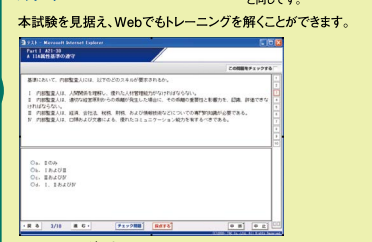
トレーニングで問題演習!



CIA試験はケーススタディ(事例研究)の形式で出題されることもあり、内部監査人としての判断力が試されます。トレーニングを丸暗記しても本試験に対応できませんので、判断力を強化する学習方法を意識的に行うよう心がけましょう。

トレーニングにはテキストでは扱っていない論点の出題も含まれています。トレーニングの解説もインプットの一部として学習してください。

Webでもトレーニングを
解くことができます!



※内容は左記トレーニングと同じです。

※画面はイメージです。

Webトレーニングについて

※問題は紙でお渡しするトレーニングと同じ内容です。10問毎に区切ってWeb上にUPされています。

※Webトレーニングは「TAC Biz school」で学習いただけます。

「https://bs.tac.biz/check/」にて動作環境のチェックが可能です。

※P.11-12のWEB SCHOOLとは別システムで、Web上で問題演習ができるシステムです。

Web通信講座+教室フリーパス制度

インターネットを利用して24時間いつでもどこでも
臨場感あふれる講義を受けられます。

Web通信講座



特 徴

- Webで講義視聴が可能。倍速機能も搭載しています。
- 「教室フリーパス制度」を利用し、八重洲校の教室講座（日曜）に無料で出席可能！

操作はとても簡単

便利で快適！充実の機能！

講義動画

収録済みの講義をインターネットでご視聴いただけます。
お好きな時間にお好きな場所で、TACの教室講義と同様の学習効果を発揮できます。

再生スキップ機能

「10 秒」「30 秒」「60 秒」の3段階で前後にスキップが可能。聞き逃した内容の確認や細かい頭出しもボタン1つで行えます。

続きから再生機能

途中で視聴を停止しても、次の視聴時に「前回停止時間から再生」ボタンをクリックすれば、前回停止した箇所から続きを再生できます。



画面は実際の仕様とは異なる場合があります

再生速度変更機能

0.8～2.0倍までの7段階から再生速度を選択できます。予習はじっくりと、復習は高速再生でなど、学習スタイルに合わせた使い方ができます。

しおり機能

受講中の動画の好きな時点を記憶させることができ、「しおりから再生」ボタンでその場所からすぐに再生できます。

全画面表示機能

お使いの端末の画面いっぱいに講義動画を表示させることができます。板書も見やすくなり、臨場感あふれる講義をご受講いただけます。

教室フリーパス制度（八重洲校） 予約不要



P.16の日程で教室講義を行っております。受講期限内であれば無料で出席可能です。



WEB SCHOOL (TACの受講生サイト)

質問・最新情報はここで確認！
インターネットならではの機能が充実！

Web講義 いつでも講義視聴が可能！



質問メール いつでもWEB SCHOOL上からメールで質問ができる！

TAC講師にいつでもメールで質問することができます。疑問点や不明点は早めに解決することが大切です。TAC講師が分かりやすく丁寧にお答えします。

<質問メールに関しての注意事項>

※CIA試験の内容については非開示が義務付けられているため、ご質問によっては回答できない場合がございます。予めご了承ください。

※質問の回数は、CIA本科生20回、各科目の単科生は各5回となります。

講座からのお知らせ 最新の試験情報や役立つ情報を発信

試験に関する情報、講座案内、受講ガイドなど、受験生に役立つ様々な情報をWeb上で確認できます。

TACでは、合格に向かって邁進する受講生をサポートするため、WEB SCHOOL (TACの受講生サイト) 内で、学習支援システム「i-support」を運用しています。講義・教材に関するご質問のほか、講座からの情報収集ツールとしてご利用ください。

※i-supportの対象コースに関しましては、P13-14の「コースガイド」をご覧ください。

※i-supportのご利用は、受講期限までとなります。

※i-supportのご利用は、パソコンでインターネットに接続できる環境があり、パソコンのeメールアドレスをお持ちの方に限定させていただきます。

※i-supportの動作環境は、TACホームページ(https://www.tac-school.co.jp/)内のWEB SCHOOLページにて、ご確認ください。なお、i-supportの動作環境は、Webトレーニング・Web模擬試験の動作環境とは異なりますので、ご確認の際は、i-support登録ページ内の動作環境をご覧ください。



自習室

講義等で使用していない教室は自習室としてご利用いただけます。

※本科生・単科生の方は、受講期限までご利用いただけます。

※教室の使用状況により自習室としてご利用いただけない場合もございます。



■ 本科生・単科生特典

特典1 教室フリーパス制度

無料

本科生は、受講期間内であれば、すべての教室講義に出席することができます。

単科生は、該当科目の教室講義に出席することができます。

特典2 再受講割引制度

受講期限後、既に受講した科目の単科生コースを割引受講料で受講することができます。苦手科目の克服や最新情報の取得等にご活用ください。

※受講料はP17-18の「受講料一覧」をご覧ください。

TACは、効率的かつ効果的に学習できる実践的カリキュラムを用意しています。

講義回数とおおよその講義時間



本科生コース TACが最もオススメするオールインワンのメインコース。

CIA本科生 [初学者対象]

(Ver2.0)

内部監査の基礎

PartI:講義 [全7回]



内部監査の実務

PartII:講義 [全6回]



内部監査に関連する知識

PartIII:講義 [全13回]

教材 テキスト、トレーニング・Webトレーニング

質問 20回 [i-support]

※「Webトレーニング」は紙でお渡しする「トレーニング」と同じ内容です。
10問毎に区切ってWeb上にUPされています。

会計初学者の方は、Basic会計講座をご受講ください。

CIA本科生 受講料
(10%税・教材費込み)

Web通信講座+教室フリーパス

¥168,000 (IPPF教材あり)

¥163,600 (IPPF教材なし)

受講期間
最大 24ヵ月

「IPPF教材」

内部監査人協会『専門職的実施の国際フレームワーク-2017年版-』(IPPF)



■発行:日本内部監査協会

■判型・ページ数:A5判・並製・345ページ

■頒布価格:¥4,400-(税込)

※PartIとPartIIで日本内部監査協会発行のIPPFから多くの出題がございます。
「IPPF教材なし」商品をお申込みいただいた場合は、ご自身で日本内部監査協会HP等より
お買い求めください。

単科生コース 必要な科目だけ受講できる科目合格者にオススメのコース。

単科生 [初学者・科目合格者対象]

内部監査の基礎

PartI:講義 [全7回]

(Ver2.0)

Part I 受講料

Web通信講座+教室フリーパス

(10%税・教材費込み)

¥54,400 (IPPF教材あり)

¥50,000 (IPPF教材なし)

受講期間
最大 12ヵ月

内部監査の実務

PartII:講義 [全6回]

(Ver2.0)

Part II 受講料

Web通信講座+教室フリーパス

(10%税・教材費込み)

¥54,400 (IPPF教材あり)

¥50,000 (IPPF教材なし)

受講期間
最大 12ヵ月

内部監査に関連する知識

PartIII:講義 [全13回]

(Ver2.0)

Part III 受講料

Web通信講座+教室フリーパス

(10%税・教材費込み)

¥100,000

受講期間
最大 12ヵ月

教材 テキスト、トレーニング・Webトレーニング

質問 5回 [i-support]

※「Webトレーニング」は紙でお渡しする「トレーニング」と同じ内容です。
10問毎に区切ってWeb上にUPされています。

オプション 論点補強のためのオプション講座。

Basic会計講座 [会計論点補強]

初めて会計を学習される方でも、PartIIIの講義を安心して受講していただけるように、Basic会計講座では、財務会計・管理会計の基礎論点について、対策講義を行います。会計に特化した問題が100題ついてきますので、会計論点を補強したい方にもオススメです。

教材 テキスト、トレーニング
Web 講義 [全6回] (約2.5時間/回)
講師 林 健 講師

※PartIIIの講義は、財務会計・管理会計の基礎知識をお持ちであることが前提となります。必要に応じて、Basic会計講座をご受講ください。

トレーニングは、会計に関する問題が100題ついてきます。
CIA試験は、基礎から応用まで幅広く出題されますので、
PartIIIの学習前に受講されることをお勧めしています。会計
初学者の方はもちろんですが、会計が苦手な方にもお勧め
しています。Basic会計
(10%税・教材費込み)

Web通信講座

¥12,800

受講期間
最大 12ヵ月※オプション講座のみのお申込みの場合は、自習室、
i-support(質問メール等)はご利用できません。

Web模擬試験 (PartI/PartII/PartIII) ※PartIIIは5月入学よりお申込みいただけます。

・インターネット環境にて、ご自宅のPC等よりご受験いただけます。
・全問 解答解説動画付き
・紙での問題、解答解説付き(保存用)

発送物 「TAC会員証」、「模擬試験冊子(1冊)」

受験方法 「TAC Biz School」にて期限内は制限なく受験可

解答解説 田中義徳 講師

※本試験では得点の配点は公表されておきませんが、本Web模擬試験では
1問6点の配点としており、80%以上の正答率を合格ラインとしております。
※CIA本科生、単科生で使用する「トレーニング、Webトレーニング」とは
異なる問題を使用しております。詳細は、P.20を
ご確認くださいWeb模擬試験
(10%税・教材費込み)

¥8,800 (各パート毎)

受講期間
最大 12ヵ月※オプション講座のみのお申込みの場合は、自習室、
i-support(質問メール等)はご利用できません。

教材発送日程

※日程は変更となる場合がございます。予めご了承ください。

※教材Ver.2.0

発送教材		4月	5月	7月	9月
PartⅠ	テキスト	4月8日(金)	5月9日(月)	6月28日(火)	8月29日(月)
	トレーニング				
	PartⅠ差分レジュメ				
PartⅡ	テキスト	4月8日(金)	5月9日(月)	6月28日(火)	8月29日(月)
	トレーニング				
PartⅢ	テキスト 上・下巻	4月8日(金)	5月9日(月)	6月28日(火)	8月29日(月)
	トレーニング 上・下巻				
	リース会計基準改訂レジュメ				
IPPF	IPPF	4月8日(金)	5月9日(月)	6月28日(火)	8月29日(月)
BASIC会計	テキスト	4月8日(金)	5月9日(月)	6月28日(火)	8月29日(月)
	トレーニング				
Web模擬試験	模擬試験冊子	4月8日(金) ※PartⅢは5月入学より	5月9日(月)	6月28日(火)	8月29日(月)

※該当コースの教材のみ発送

Web視聴開始日

科目	回数	4月	5月	7月	9月
PartⅠ	①～⑦ (小菅講師Ver/田中講師Ver)	4月13日(水)	5月12日(木)	7月1日(金)	9月1日(木)
PartⅡ	①～⑥ (小菅講師Ver/田中講師Ver)				
PartⅢ	①～⑬ (小菅講師Ver/田中講師Ver)				
BASIC会計	①～⑥	4月13日(水)	5月12日(木)	7月1日(金)	9月1日(木)
Web模擬試験	各Part毎 全問解説講義	4月13日(水) ※PartⅢは5月入学より	5月12日(木)	7月1日(金)	9月1日(木)

※PartⅠ・PartⅡ・PartⅢは、「小菅講師Ver」、「田中講師Ver」の2パターンの講義視聴が可能です。
どちらも現行試験に対応している為、両方の講義を視聴する必要はございません。お好みに合わせてご選択ください。

受講期間

入学月	受講開始日～	～受講期限			
		本科生	各単科Part	Basic会計	各Web模擬試験
2022年 4月	2022年 4月13日～	2024年 4月12日	2023年 4月12日	2023年 4月12日	2023年 4月12日
2022年 5月	2022年 5月12日～	2024年 5月11日	2023年 5月11日	2023年 5月11日	2023年 5月11日
2022年 7月	2022年 7月 1日～	2024年 6月30日	2023年 6月30日	2023年 6月30日	2023年 6月30日
2022年 9月	2022年 9月 1日～	2024年 8月31日	2023年 8月31日	2023年 8月31日	2023年 8月31日

日程は社会情勢の変化等により、変更になる場合があります。
予めご了承ください。

教室講座日程(八重洲校)(全開講コース共通)

2021年11月スタート

※教室講座は、週末に八重洲校でのみ実施しています。
※本科生・単科生の方は教室フリーパス制度でご出席いただけます。

科目	回数	日程	時間
内部監査の基礎 PartⅠ (Ver2.0)	①	2021年 11月28日(日)	13:30～16:00
	②	12月5日(日)	13:30～16:00
	③	12月5日(日)	16:30～19:00
	④	12月12日(日)	13:30～16:00
	⑤	12月12日(日)	16:30～19:00
	⑥	12月19日(日)	13:30～16:00
	⑦	12月19日(日)	16:30～19:00
内部監査の実務 PartⅡ (Ver2.0)	①	2022年 1月23日(日)	13:30～16:00
	②	1月23日(日)	16:30～19:00
	③	1月30日(日)	13:30～16:00
	④	1月30日(日)	16:30～19:00
	⑤	2月6日(日)	13:30～16:00
	⑥	2月6日(日)	16:30～19:00
内部監査に 関連する知識 PartⅢ	①	3月6日(日)	13:30～16:00
	②	3月13日(日)	13:30～16:00
	③	3月13日(日)	16:30～19:00
	④	3月20日(日)	13:30～16:00
	⑤	3月20日(日)	16:30～19:00
	⑥	3月27日(日)	13:30～16:00
	⑦	3月27日(日)	16:30～19:00
	⑧	4月3日(日)	13:30～16:00
	⑨	4月3日(日)	16:30～19:00
	⑩	4月10日(日)	13:30～16:00
	⑪	4月10日(日)	16:30～19:00
	⑫	4月17日(日)	13:30～16:00
	⑬	4月17日(日)	16:30～19:00

2022年5月スタート

科目	回数	日程	時間
内部監査の基礎 PartⅠ (Ver2.0)	①	2022年 5月22日(日)	13:30～16:00
	②	5月29日(日)	13:30～16:00
	③	5月29日(日)	16:30～19:00
	④	6月5日(日)	13:30～16:00
	⑤	6月5日(日)	16:30～19:00
	⑥	6月12日(日)	13:30～16:00
	⑦	6月12日(日)	16:30～19:00
内部監査の実務 PartⅡ (Ver2.0)	①	7月3日(日)	13:30～16:00
	②	7月3日(日)	16:30～19:00
	③	7月10日(日)	13:30～16:00
	④	7月10日(日)	16:30～19:00
	⑤	7月17日(日)	13:30～16:00
	⑥	7月17日(日)	16:30～19:00
内部監査に 関連する知識 PartⅢ	①	8月21日(日)	13:30～16:00
	②	8月28日(日)	13:30～16:00
	③	8月28日(日)	16:30～19:00
	④	9月4日(日)	13:30～16:00
	⑤	9月4日(日)	16:30～19:00
	⑥	9月11日(日)	13:30～16:00
	⑦	9月11日(日)	16:30～19:00
	⑧	9月18日(日)	13:30～16:00
	⑨	9月18日(日)	16:30～19:00
	⑩	9月25日(日)	13:30～16:00
	⑪	9月25日(日)	16:30～19:00
	⑫	10月2日(日)	13:30～16:00
	⑬	10月2日(日)	16:30～19:00

以降の日程は、2022年9月発行予定のパンフレットにてお知らせします。
日程は変更になる場合がございます。教室講座に参加される方は、最新の日程をTAC CIA講座HP
(https://www.tac-school.co.jp/kouza_cia.html)にてご確認ください。

※申込開始日:全商品2022年3月28日(月)より申込可(受講開始日等は、商品によって異なります。)

CIA本科生 (Ver2.0)

コース名	学習メディア	IPPF教材	コースNo.				クラスNo.	受講料(10%税込)
			4月入学	5月入学	7月入学	9月入学		
CIA本科生	Web通信 +教室フリーパス	あり	233-212	234-212	235-212	236-212	W1	¥168,000
		無し	233-213	234-213	235-213	236-213	W1	¥163,600

内部監査士割引(30%OFF) 対象:CIA本科生

※インターネット申込みのみ対象

※日本内部監査協会が主催する内部監査士もしくは金融内部監査士の称号をお持ちの方は、CIA本科生を30%OFFでお申込みいただけます。取得時期は問いません。

「お申込みまでの流れ」

- TAC CIA講座まで以下の通りメールを送付してください。
 - ◆メール宛先：cia@tac-school.co.jp（TAC CIA講座）
 - ◆メールタイトル：「(〇〇〇〇)CIA 内部監査士割引希望メール」
 - ※〇〇〇〇には氏名をご記入ください。
 - ◆メール本文：以下の3点をお送りください。
 - ・TAC会員番号(会員番号をお持ちの方のみ)
 - ・氏名
 - ・認定証書をデータ化していただき添付(携帯の写真可)
- TACより、「インターネット申込み」で使用できる30%OFFのクーポンコードをお送りさせていただきます(通常1週間程度)。
- インターネットにてお申込みください(e受付)

他校学習経験者割引(最大30%OFF) 対象:CIA本科生

※アンケート必須 ※インターネット申込みのみ対象

※対象者:他校でCIAの学習をされていた方(受講料が10万円以上のCIA本科生相当の講座を受講されていた方)学習時期は問いません。過去に学習されていた講座やご協力いただくアンケート等を総合的に判断し割引率を決定させていただきます。

「お申込みまでの流れ」

- TAC CIA講座まで以下の通りメールを送付してください。
 - ◆メール宛先：cia@tac-school.co.jp（TAC CIA講座）
 - ◆メールタイトル：「(〇〇〇〇)CIA 他校学習経験者割引希望メール」
 - ※〇〇〇〇には氏名をご記入ください。
 - ◆メール本文：以下の3点をお送りください。
 - ・TAC会員番号(会員番号をお持ちの方のみ)
 - ・氏名
 - ・他校での受講コースと受講料が識別できる会員証または受講証明書をデータ化していただき添付(携帯の写真可)
- 「他校学習経験者割引」の申請書・アンケート」お送りさせていただきます。ご記入後メールにてご返信ください。
- 確認後、「インターネット申込み」で使用できるクーポンコードをお送りさせていただきます(通常1週間程度)。※割引率は審査結果により変動します。
- インターネットにてお申込みください(e受付)

単科生 PartI (Ver2.0)

コース名	学習メディア	IPPF教材	コースNo.				クラスNo.	受講料(10%税込)
			4月入学	5月入学	7月入学	9月入学		
PartI	Web通信 +教室フリーパス	あり	233-312	234-312	235-312	236-312	W1	¥54,400
		無し	233-313	234-313	235-313	236-313	W1	¥50,000
PartI 再受講	Web通信 +教室フリーパス	あり	233-322	234-322	235-322	236-322	W1	¥29,400
		無し	233-323	234-323	235-323	236-323	W1	¥25,000

単科生 PartII (Ver2.0)

コース名	学習メディア	IPPF教材	コースNo.				クラスNo.	受講料(10%税込)
			4月入学	5月入学	7月入学	9月入学		
PartII	Web通信 +教室フリーパス	あり	233-412	234-412	235-412	236-412	W1	¥54,400
		無し	233-413	234-413	235-413	236-413	W1	¥50,000
PartII 再受講	Web通信 +教室フリーパス	あり	233-422	234-422	235-422	236-422	W1	¥29,400
		無し	233-423	234-423	235-423	236-423	W1	¥25,000

単科生 PartIII (Ver2.0)

コース名	学習メディア	コースNo.				クラスNo.	受講料(10%税込)
		4月入学	5月入学	7月入学	9月入学		
PartIII	Web通信+教室フリーパス	233-511	234-511	235-511	236-511	W1	¥100,000
PartIII再受講	Web通信+教室フリーパス	233-521	234-521	235-521	236-521	W1	¥50,000

サポートコース

コース名	学習メディア	コースNo.				クラスNo.	受講料(10%税込)
		4月入学	5月入学	7月入学	9月入学		
Basic会計講座	Web通信	233-611	234-611	235-611	236-611	W1	¥12,800
Web模擬試験	PartI (TAC BIZ SCHOOL)	233-11A	234-11A	235-11A	236-11A	W1	¥8,800
	PartII (TAC BIZ SCHOOL)	233-11B	234-11B	235-11B	236-11B	W1	¥8,800
	PartIII (TAC BIZ SCHOOL)	—	234-11C	235-11C	236-11C	W1	¥8,800

注意

- ・0から始まる会員番号をお持ちでない方は、受講料のほかに別途入会金(¥10,000・10%税込)が必要です。会員番号につきましては、TAC各校またはカスタマーセンター(0120-509-117)までお問い合わせください。
- ・サポートコースは入会金不要です。
- ・受講料には、教材費・消費税10%が含まれています。
- ・お申込みの時期によって、受講期限は延長になりません。
- ・再受講のお申込みは、e受付、TAC各校受付または、郵送のみ承ります。書店代理店・大学生協ではお申込みできません。各校受付：お申込み時に①「本科生での受講を証明するもの(会員証等)」・②「身分証明書」をご提示ください。郵送：①のコピーを同封してください(②は不要です)。その他の割引制度との併用はできません。
- ・サポートコースは、自習室・I-support(質問メール等)をご利用できません。
- ・日程等は都合により変更になる場合があります。予めご了承ください。

CPEとは

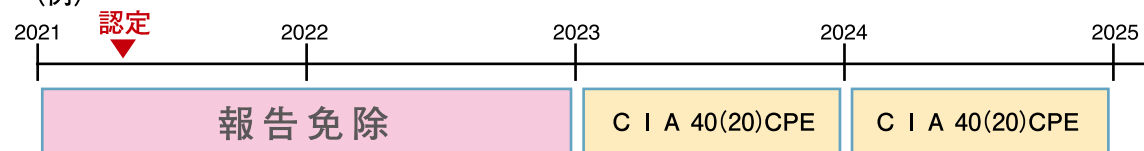
CPE(Continuing Professional Education、継続的専門能力開発制度)とは、IIA認定資格保持者がその称号を得た後も、常に専門職としてふさわしい能力・知識の開発を維持し、その称号を維持するに値しているかの証明を目的としたIIAの制度です。

必要なCPEの単位数は？

資格認定をされた翌々年より、毎年12月に報告が必要です。

- ・内部監査実務に従事されている方は、CPE:40単位
- ・内部監査実務に従事されていない方は、CPE:20単位

(例)



CPEの取得方法は？

CIAの専門的能力の開発や維持に貢献する分野であれば、監査及び会計関連・IT・経済など、比較的幅広い分野での活動が認められます。

CPE単位は50分=1単位として付与されます。

資格の学習でもCPEを取得し報告できますし、IIAが開催しているセミナーへの出席等でもCPEを取得することが可能です。

※CPEにつきまして、より詳細な情報および最新情報は、協会ホームページ(<http://www.iiajapan.com/ii/>)をご確認ください。



Web模擬試験

- インターネット環境にて、ご自宅のPC等よりご受験いただけます。
- 全問 解答解説動画付き ●紙での問題、解答解説付き(保存用)

▶ 試験時間	PartI	2時間30分
	PartII	2時間
	PartIII	2時間
▶ 問題数	PartI	125問
	PartII	100問
	PartIII	100問
▶ 期限内であれば何度も受験可能		
▶ 受講料	各Part	8,800円(税込)

※本試験では得点の配点は公表されておきませんが、本Web模擬試験では1問6点の配点としており、80%以上の正答率を合格ラインとしております。

解答解説動画イメージ

全問解答解説動画付き

解答解説動画では、重要論点を強調し
なぜその選択肢が
正解なのかを解説しております。

- ※問題と解答解説は保存用として、冊子でも送付いたします。
- ※冊子では1問ごと、1ページに問題と解説が記載されています。

Check!

Web模擬試験は「TAC Biz School」で受験いただけます。
「<https://bs.tac.biz/check/>」にて事前に動作環境の
チェックが可能です。



Web 模擬試験 受験方法

- (インターネット・郵送でお申込みの場合)
お申込後、約1週間程度で
TAC会員証がお手元に届きます。※
※BIZ SCHOOLのご利用が初めての方は、お申込後、会員証がお手元に届き次第受験可能です。
(既にBIZ SCHOOLをご利用中の方は、申込登録が完了後、通常3営業日程度で受験可能です。)
- TAC会員証に記載の「ID・パスワード」にて、「TAC Biz School」へログインください。
※既にBIZ SCHOOLをご利用中の方は、ご利用中の「ID・パスワード」に本Web模擬試験が追加されます。ご利用中の「ID・パスワード」にてログインください。
- 「TAC Biz School」にてWeb模擬試験をご受験いただけます。

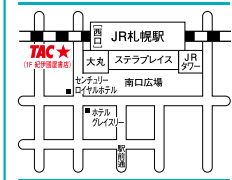
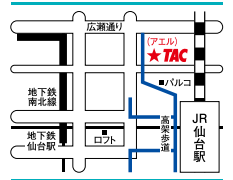
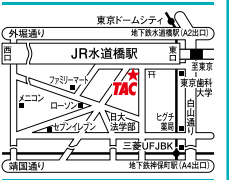
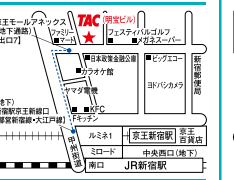
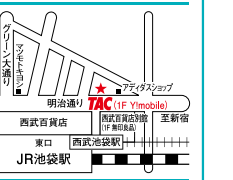
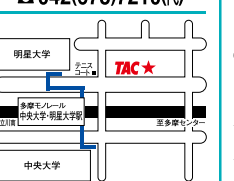
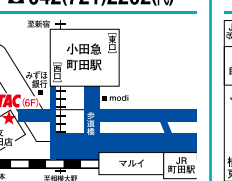
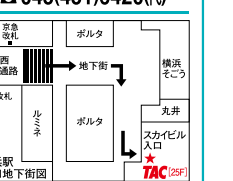
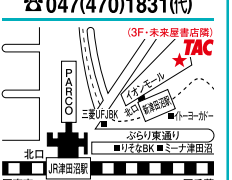
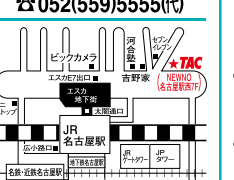
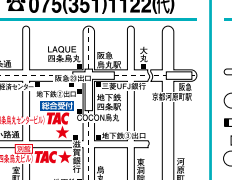
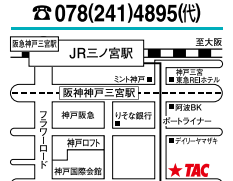
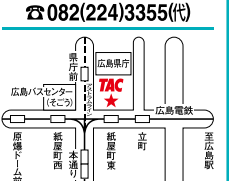
※発送物:「TAC会員証」、「PartI模擬試験冊子(1冊)」「異なる部門より発送となるため、会員証と冊子は同送ではございません。)

注意

- CIA講座模擬試験は、入会金不要コースです。
- TAC会員番号をお持ちの方は、必ずお持ちの会員番号にてお申込みください。(新規でTAC会員番号を作成されないようご注意ください。)
- 受講料には、教材費・消費税10%が含まれています。
- お申込みの時期によって、受講期限は延長になりません。
- 自習室、i-support(質問メール)はご利用できません。
- 本模擬試験は、本試験の合格を保証するものではありません。

TAC MAP

●TAC直営校

札幌校 〒080-0005 札幌市中央区北5条西5丁目7番地 sapporo 55 3F ☎011(242)4477(代)  JR札幌駅西口より徒歩2分	仙台校 〒980-6125 仙台市青葉区中央1丁目3番1号 アルビル25F ☎022(266)7222(代)  JR仙台駅西口より徒歩3分【高層歩道アルビル直結】	水道橋校 〒101-0061 千代田区神田三崎町2-10-8 オリックス水道橋ビル ☎03(5276)0271(代)  JR水道橋駅西口より徒歩1分 地下鉄神保町駅より徒歩10分 地下鉄水道橋駅A2出口より徒歩3分	新宿校 〒160-0023 新宿区西新宿1-21-1 明泰ビル9F ☎03(5322)1040(代)  JR新宿駅南口より徒歩5分 地下通路(京王モールデックス)出口より徒歩1分	早稲田校 〒169-0071 新宿区戸塚町1-101-16 早稲田ビル ☎03(5287)4940(代)  総合受付 早稲田大学南門スク 別館 東西線早稲田駅西口南口スク	池袋校 〒171-0022 豊島区南池袋1-19-6 オリックス池袋ビル6F ☎03(5992)2850(代)  JR・私鉄・地下鉄池袋駅東口より徒歩3分
渋谷校 〒150-0031 渋谷区恵比寿町31-15 渋谷桜丘スクエア5F ☎03(3462)0901(代)  JR渋谷駅南口 東急線・地下鉄出口より徒歩7分 京王線の池袋線渋谷駅西口より徒歩4分	八重洲校 〒140-0031 中央区京橋1-10-7 KPP八重洲ビル4F ☎03(6228)8501(代)  JR東横線八重洲中出口より徒歩6分 日本橋駅81出口より徒歩3分 京橋駅6番出口・宝町駅A6出口より徒歩4分	立川校 〒190-0012 立川市曙町1-14-10 井門立川曙町ビル ☎042(528)8898(代)  JR立川駅北口(2階連絡通路)より徒歩4分 多摩線・有明線・中央線立川北口より徒歩3分	中大駅前校 〒192-0351 八王子市東中野216-1 西友町田店6F ☎042(678)7210(代)  多摩線・有明線・中央線・明大前駅 明大前駅・中央線・有明線・中央線・有明線	町田校 〒194-0022 町田市森野1-14-17 西友町田店6F ☎042(721)2202(代)  小田急町田駅より徒歩1分 JR町田駅中央改札より徒歩3分	横浜校 〒220-0011 横浜市中区高島2-19-12 スカイビル25F ☎045(451)6420(代)  JR・私鉄・地下鉄横浜駅東口より徒歩3分
日吉校 〒223-0062 横浜市港北区日吉町1-5-21 ☎045(560)6166(代)  東急東横線日吉駅西口より徒歩3分	大宮校 〒330-0854 いいた市大宮区桜木町1-10-17 シノ大宮サウイング4F ☎048(644)0676(代)  JR大宮駅西口より徒歩5分【空中歩道直結】	津田沼校 移転オープン 〒275-0016 野田市新津田沼1-23-1 イオンモール津田沼3F ☎047(470)1831(代)  JR津田沼駅北口より徒歩3分 東武東上線・新津田沼駅北口直結	名古屋校 〒453-0014 名古屋市中村区新武1-1-7 NEWNO名古屋駅前7F ☎052(559)5555(代)  エスエスビル南口より徒歩3分 JR名古屋駅南口より徒歩5分	京都校 〒600-0421 京都市下京区錦小路通東入道寺町159-4 JR東山烏丸センタービル3F ☎075(351)1122(代)  地下鉄四条駅・阪急烏丸駅より徒歩2分	梅田校 〒530-0015 大阪市北区中津2-4-12 梅田センタービル4F ☎06(6371)5781(代)  阪急大塚梅田駅・地下鉄東宝町駅より徒歩6分 JR大塚駅より徒歩7分
なんば校 〒542-0076 大阪市中央区難波2-1-2 太陽生命難波ビル2F ☎06(6211)1422(代)  地下鉄なんば駅西口南口スク	神戸校 〒651-0087 神戸市中央区幸通6-1-10 オリックス神戸三宮ビル2F ☎078(241)4895(代)  JR三ノ宮駅・阪神三宮駅より徒歩5分 阪神三宮駅より徒歩5分	広島校 〒730-0011 広島市中区基町11-10 合人社広島紙屋ビル4F ☎082(224)3355(代)  広島電鉄紙屋町東電停の正面	福岡校 〒810-0001 福岡市中央区天神1-15-6 緑ビル2F ☎092(724)6161(代)  地下鉄天神駅東口改札より徒歩2分		

●TAC提携校

水戸校 株式会社アイエスイ 〒310-0015 水戸市宮町1-3-41 水戸メッセビル3F JR水戸駅北口より徒歩1分 ☎029(350)7750(代)	群馬校 中央総合学院内 〒371-0805 前橋市南町3-14-1 JR前橋駅南口より徒歩2分 ☎027(226)1823(代)	富山校 富山情報ビジネス 専門学校USP内 〒939-0341 射水市三ヶ576 JR小杉駅北口より徒歩8分 ☎0766(55)5513(代)	金沢校 エルアンドエル システム北陸 〒921-8044 金沢市米原7-28-1 JR西金沢駅北口より徒歩3分 ☎076(245)7605(代)	岡山校 南吹吹カレッジサービス 〒700-0023 岡山市北区駅前町1-8-18 イコニコビル3F JR岡山駅南口より徒歩3分 ☎086(236)0225(代)	福山校 穴吹カレッジ キャリアアップスクール 〒720-0066 福山市三之丸町30-1 福山駅構内サンダー・システム福山3F JR福山駅より徒歩5分 ☎084(991)0250(代)
高校校 穴吹カレッジ キャリアアップスクール 〒760-0024 高松市市街町5-2 兵衛町商店街アーケード内 JR高松駅より徒歩7分・高松駅南口より徒歩9分 ☎087(822)3313(代)	徳島校 穴吹カレッジ キャリアアップスクール 〒770-0832 徳島市寺島町東3-12-7 マスダビル3F JR徳島駅より徒歩1分 ☎088(653)3588(代)	大分校 学校法人 府内学園内 〒870-0839 大分市金満南1-8-5 府内エデュケーションビル内 JR大分駅より徒歩3分 ☎097(546)5224(代)	熊本校 税理士法人 東京会計グループ 〒860-0844 熊本市中央区水町9-29 フォレストビル水町通 市電水町電停より徒歩1分 ☎096(323)3622(代)	宮崎校 宮崎ビジネス公務員 専門学校内 〒880-0812 宮崎市高千穂通2-2-27 JR宮崎駅より徒歩4分 ☎0985(22)6881(代)	鹿児島校 鹿児島情報ビジネス 公務員専門学校内 〒892-0842 鹿児島市東千石町19-32 市電天文館電停より徒歩5分 ☎099(239)9523(代)
沖縄校 ●那覇校舎 〒902-0067 那覇市安里44-4 安里三叉路より徒歩1分 ☎098(864)2670(代) ●中部校舎 098/311661 〒904-0022 沖縄県沖縄市園田3-7-33					

TAC校舎の
詳しい情報をご覧ください

TAC 校舎

検索



校舎ごとに営業時間等が異なります。詳しくは各校舎までお問い合わせください。

22/03/22 現在

TACの 安心宣言！

TACは受講生の皆様に
安心な学習環境を提供することを宣言します！



宣言その1

プライバシーマークの 取得

TACは受講生の皆様からお預かりした
大切な個人情報を適切に取り扱い、保
護いたします。その証として、「一般財
団法人日本情報経済社会推進協会」か
らプライバシーマークを取得しています。

詳しくは、弊社HP (<https://www.tac-school.co.jp/privacy.html>) をご覧ください。



宣言その3

暴力団等反社会的勢力 反対の取り組み

TACは「暴力団排除条例」の基本理念に基づき、暴力団
またはその関係者などの反社会的勢力に対しては、次
のとおりとすることを宣言いたします。

- ・反社会的勢力との取引は行わず、またこれらを利用
しません
- ・反社会的勢力に不当な利益を与えません
- ・反社会的勢力からの不当な要求には一切応じません



宣言その2

ハラスメント防止啓発 の推進

TACは受講生の皆様に対し、安心して学習できる環境
をご提供するため、ハラスメント防止啓発の推進に努
めています。ハラスメントに関するご相談は、ハラスメ
ント相談室 (harassment@tac-school.co.jp)、または
各校舎の拠点相談窓口をご利用ください。

詳しくは、弊社HP (<https://www.tac-school.co.jp/harassment.html>) をご覧ください。



宣言その4

適正な広告の表示

TACは商品、サービス等の内容や取り扱いについて、可
能な限り透明かつ正確な情報を提供するとともに、誤
認のないよう解りやすい広告表示をするために、広告
表示に関する基準を公開しています。

詳しくは、弊社HP (<https://www.tac-school.co.jp/koukoku.html>) をご覧ください。

2022年2月現在